



平井鳥取県知事



3月27日(水)、全労済鳥取県本部5階大会議室において、連合鳥取鳥取県労働者福祉協議会・中国労働金庫鳥取県営業本部全労済鳥取県本部の4団体主催による、「労働事業4団体研修会」を開催しました。当日は各構成組織から120人が参加し、鳥取県内各地域の「コミュニティ」の活性化や、活力があり安心して暮らせる鳥取県の実現に向け、鳥取ならではの強み・ポテンシャルを最大限発揮し、持続可能な新たな地域づくりをめざす鳥取県の施策「鳥取力創造運動」について、参加者全員で理解を深めました。

冒頭、主催者4団体を代表して、五十嵐連合鳥取会長が「私たちはライフサポート制度や勤労者の福祉向上に向け様々な活動を展開している。この研修会は、更なる活動の強化と、4団体全体の連携をPRすることを目的としている。『鳥取力創造運動』とは鳥取のすばらしい人材・豊かな自然を活かすとともに地域がもっている良いところをどう革新していくのか、県民が英知を結集し連携を強化する中で『鳥取力』向上をめざす政策である。そのことを我々労働界も理解しながらこの県民運動の拡大に向け、こうした取り組みに参加するとともに職場や地域で多くの人に伝えてほしい」とあいさつし、早速講演に入りました。

とができたとの報告もされました。この条例は、議員の中でも議論が過熱しましたが、鳥取県民が全国で一番県政にアクセスすることができ、行政を身近に感じることができるとして制定することができたことにもふれられました。

続いて、鳥取県は都道府県別『ボランティア行動』の行動者率において、「全国第4位」と県民の助け合いの気風が高く、絆の強さが表れており、一例として砂丘除草ボランティアの増加といった自然景観を守るような活動に積極的に参加する県民性が表れていることや、災害を乗り越える地域力として、鳥取県西部地震で組織されたボランティアが東日本大震災復興支援で支援の輪を広げていったなど、様々なボランティア活動を紹介され、こうしたよき伝統を鳥取県の財産にしたいと述べられました。また、反戦・平和人権擁護、被災地支援、環境保全など様々な事象を契機に組織力を活かして、参加・支援してきた労働組合運動が市民運動に果たした役割についても評価をいただきました。

その他、地元農産物での地域おこしや、ご当地グルメの聖地鳥取県・ソフトパワーで飛躍する鳥取県・子育て王国鳥取県のPR、さらには地域の文化を守る活動の紹介や、住民自らが考え取り組む防災対策の促進、障がいのある方に手助けや配慮を実践する「あいサポーター」の普及、企業との共同による中山間地の高齢者見守り活動など、地域住民や団体など様々な主体が協働・連携し「人材」、「地域資源」を「顔の見えるネットワーク」でつなげ、鳥取ならではの強み、ポテンシャルを最大限に発揮する「鳥取力創造運動の展開」について紹介がありました。

この度の講演では、ご多忙の中、講師として平井伸治鳥取県知事をお願いし「鳥取力創造く人材や地域資源を活かしてつなぐ」と題し、パワーポイントを使いながら、鳥取ならではの強みを活かして、鳥取の未来を創造する活動についてお話しいただきました。

最後に、「人間は助け合いという素晴らしい能力を持っている。労働・社会運動の原点に立ち返り、みなさんと一緒になって鳥取力を創造し地域をつくらせていきましょう!」と述べられ、講演会を終えました。

第84回鳥取県メーデー大会 4月28日(日)開催  
《詳しくは3ページに記載》



# 2013春季生活闘争特集

## ◇労働者の処遇改善を追求し、働くことを軸とする安心社会を実現しよう

— 東・中・西部地協2013春季生活闘争勝利総決起集会で確認 —

連合鳥取は、3月5日(火)の中部地協を皮切りに、東部地協[3月6日(水)]、西部地協[3月8日(金)]と各地協主催の「2013春季生活闘争勝利総決起集会」を開催しました。各会場とも、連合鳥取推薦支持議員団のみなさんにもご参加いただき、「働くすべての労働者の先頭に立ち、傷んだ雇用と労働条件の復元に全力で取り組み、デフレ脱却の突破口をきりひらく決意と態勢固め」を確認しました。

また、今集会では、「産別決意表明」「春闘アピール」とともに、「地方交付税削減を担保とした地方公務員の給与減額を求める閣議決定に対しての特別決議」、「3.8国際女性デーアピール」も採択されました。

このうち、大手産別の回答引出しヤマ場の13日を前に開催された西部地協主催の集会には1,000人を超える役員・組合員の参加がありました。

冒頭、中島西部地協議長は「東日本大震災から2年を迎えるが、被災地のみなさんの心の復興と地域社会の再建に向けて西部地協としての支援活動を継続する」と決意表明するとともに、2013春闘については「例年以上に厳しい春闘にあるが、賃金の引き上げによる内需拡大と格差是正、働く者を守る労働法の規定が重要。大手産別は中小・未組織労働者に波及効果を促す回答引出しに期待する」とあいさつしました。

続いて、五十嵐連合鳥取会長が、所得が増えないと社会が混乱するといった今春闘の意義を唱え、賃金復元のための1%配分確保を訴えました。

また、集会後のデモ行進では、2013春闘の意義を強く市民のみなさんに訴えるため、シュプレヒコール「連合は最後まで闘うぞ〜。闘うぞ〜」の猛特訓を行ったうえで行進に臨みました。街宣車2台に西部地協幹事が乗り込み、街宣文を読み上げ市民のみなさんに理解を求めるとともに、猛特訓のシュプレヒコールで訴え、大いに氣勢をあげました。



### 集会アピール《要旨》

賃金水準の低下や格差の拡大、歯止めのかからない長時間労働、雇用の非正規化など、「雇用と労働条件」は大きく傷んでしまった。連合は今春闘において、危機を乗り越えるための原動力は「人」であり、組合員の意欲・活力を引き出すためにも「人への投資」が必要であると訴え、闘いを進めてきた。

経営者は、切り下げた賃金の復元および非正規労働者の労働条件改善、企業規模間格差の是正というわれわれの要求に正面から向き合うべきである。

加えて、被災地の復興も加速しなければならない。復興をもたらす原動力は、人々の活力である。復興を願う人々が被災地で力を尽くせるよう、安定的で、生活していける収入を確保できる雇用の創出が不可欠である。

連合に集うすべての労働者がその役割と責任を自覚し、あらゆる手段を尽くして納得できる答えを引き出す闘いを進めよう。一人ひとりの力を一つに結集し、未組織・パート労働者を含むすべての働く者のディーセント・ワーク実現に向け、最後まで闘い抜くことを宣言する。

## ◇3.8国際女性デーをアピール

女性委員会は毎年「3.8国際女性デー」をアピールする取り組みを、各地協での春闘総決起集会と連携して行っています。

本年も、各会場で「国際女性デー」をアピールするのほりのもと、取り組みの起源が記載されたポケットティッシュ(飴付)を配布するとともに、女性委員会役員によるアピール文の提案を行いました。



## ◇春闘カンパ

毎年「春闘支援カンパ」に取り組んでいただいている公務員関係労組(自治労、県教組、国公総連、全水道、鳥取市立病院労組)から、民間中小地場労組の春闘勝利に向けた取り組みに活用するためのカンパ金440,700円が寄付されました。

今春闘は、中央・大手組合では幾ばくかの賃上げ・一時金の上積みが報道されていますが、鳥取県内は相次ぐ企業の合理化や再編・閉鎖の中での厳しい春闘となっています。

官民一致団結して労働条件改善に向け取り組みましょう。



## ◆連合鳥取2013春季生活闘争・要求状況一覧表(2013.3.25現在)

- ・調査対象組合 124組合 ・登録組合 40組合 ・要求未提出だが体系維持分を労使確認 1組合
- ・賃金要求提出組合 29組合 (平均方式 25組合・個別A方式 1組合・個別B方式 3組合)
- ・平均賃上げ方式/単純平均

従業員規模	区分	組合数(組合)	組合員数(人)	体系維持相当分(円)	賃金改善(円)	合計額(円)	率(%)
計		25	3,474	4,167	2,276	6,090	2.81
	300人以上	11	2,582	4,756	2,118	6,409	2.91
	299-100人	6	631	2,933	3,040	6,011	2.73
	99人以下	8	261	4,410	1,850	5,794	2.77

## 地方自治を守ろう! - 3.30鳥取県集会を開催 -

3月30日(土)ハワイ・アロハホール(湯梨浜町)に約400人が集い「地方自治を守り、地公賃金削減に反対する3.30鳥取県集会」を開催しました。

本集会は、自民党の政権公約「公務員給与2兆円削減」を実行するため政府が強行的に閣議決定した「地方公務員給与について国の臨時特例減額措置に準じて実施する」ことに反対し、連合鳥取官公部門連絡会が主催で実施しました。

各地方自治体においては、長年にわたり厳しい独自給与削減や定員削減が実施されてきましたが、現場では常に質の高い公共サービスの維持と、東日本大震災からの復興・再生に向け、仕事に対する責任と誇りをもって懸命な努力が続けられています。政府はその誇りを奪い、国の政策目的達成のための手段として、地方交付税を用いて、さらに地方公務員の給与を下げようとしているのです。

「地方自治と地公賃金を考える」と題した講演では、地方自治総合研究所の上林陽治研究員を講師に、地方交付税額の仕組み、基準財政需要額の積算等、具体的に分かりやすく説明をいただきました。「財政難から職員の給与を独自カットしてきた自治体が、今年も引き下げたら来年の交付税にマイナスで反映される。地方交付税をないがしろにしてきた責任は、地方の側にもある」と労使交渉での賃金引き下げに同調した事に言及され、「今が踏ん張りどき。過ちは繰り返してはいけない」とまとめられました。

働く仲間の結集で、政府の不当な措置に断固反対していきましょう。



## Information

第84回鳥取県メーデー大会			産別・単組代表者会議 (参議院議員選挙)
<b>中央(中部)地協</b> ◇集合・受付/9時00分～ ◇式典開会/9時30分 ◇式典会場/飛天夢広場 (天神川河川敷 竹田橋下流側) ※式典終了後、市内をデモ行進し会場に戻ってきます	<b>東部地協</b> ◇集合・受付/9時00分～ ◇式典開会/9時30分 ◇式典会場/鳥取市千代川 市民スポーツ広場 (千代橋下) ※式典終了後、JR鳥取駅前花時計付近までデモ	<b>西部地協</b> ◇集合・受付/9時～ 米子市湊山公園 ◇デモ行進/9時30分～ 式典会場へ移動 ◇式典・イベント/10時30分～ JR米子駅前だんだん広場 ※夢の始まり～ 女川町からのメッセージ	<b>《東部地協》</b> ◇日時/4月12日(金)18時30分～ ◇場所/とりぎん文化会館・第4会議室
<b>《式典》</b> ◇主催者、来賓あいさつ ◇メーデースローガン、宣言、特別決議採択 ◇メーデー川柳表彰式			<b>《中部地協》</b> ◇日時・場所/調整中 決定次第、中部地協より各単組(中部)にご案内します
<b>《イベント》</b>			<b>《西部地協》</b> ◇日時/4月17日(水)18時30分～ ◇場所/米子コンベンションセンター 第4会議室
◇お楽しみ抽選会 ◇プラカードコンクール ◇産別・単組協力コーナー 商品販売や企業紹介を実施 ※お子さまプレゼント (産別・単組ブースをまわってシールを集めてお菓子をGet!) ◇福祉施設コーナー(お菓子・飲み物販売予定)	◇オープニングイベント ご当地アイドル T☆Tイレブンによる歌♪とダンス ◇抽選会 ◇プラカードコンクール ◇物品販売コーナー (単組商品&岩手県産販売を予定)	◇プラカードコンクール ◇つなごろうNIPPON(東日本復興支援募金) ◇復興支援メーデー参加賞 ◇お子さまへ楽しいプレゼント ◇労働歌メーデー:今、労働者原点に立ち返ろう! ゴスペルオープのみなさんと一緒に歌いましょう♪	<b>女性委員会 役員研修会</b> ◇日時/5月18日(土)10時00分～ ◇場所/米子市・国際ファミリープラザ ◇内容/講演会&グループワーク
<b>《その他》</b> ◇地域貢献活動 ○メーデー献血/各地協ごとに実施 (詳しくは各地域協議会事務局へお問い合わせください) ◇エコ活動他(各会場で) ○使用済み割りばし回収 ○ペットボトルキャップ回収 (事前に洗浄&乾燥させてください)			

<決定> 4月16日(火)18時30分 - 倉吉未来中心・セミナーム3

<変更> 4月18日(木)18時30分 - 米子コンベンションセンター・第7会議室

# 参議院議員選挙【7月実施】推薦決定

連合鳥取「第4回執行委員会（2013.3.21開催）」において、2013年7月実施予定の第23回参議院通常選挙に川上義博さんを推薦決定いたしました。  
みなさんのご支援、ご協力をお願いします。

よしひろ  
**川上義博**（民主党公認）  
1950年10月生（62才）

【代表的肩書】  
内閣総理大臣補佐官  
参議院予算委員会筆頭理事  
参議院議員 衆議院議員  
鳥取県議会議員



## “ザ・議員”

のりおう  
**長坂 則翁** 鳥取市議会議員

私は市民生活の向上、市政の発展に向け、福祉、教育、スポーツ振興、地域の安全・安心を確保するための、防災、防犯、交通安全対策等、多岐にわたり様々な課題について、真剣に向き合い取り組んでまいりました。

政治の基本は「立場の弱い人たちに光があたる社会の実現」「流した汗が報われる社会の実現」だと思います。この間の議員活動につきましては、連合の推薦協定書にもありますように「議会報告など議員活動について定例議会ごと連合鳥取に報告を行います」に基づき「議会だより」を発行し、市民のみなさまとの架け橋の役割を果たしています。

今後とも、市民のみなさまの目線で物事を考え、積極的に行動をしていきたいと思っておりますし、たえず市民のみなさまの身近な存在でありたいと考えています。

また、「地域に根ざした顔の見える議員」をめざし、議員としての資質の向上に向け、邁進する決意です。



**伊藤ひろえ** 米子市議会議員

米子市議会議員として10年間活動してこれたのも、ひとえにみなさまのおかげと心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、従来から活動している「中海浄化・こども支援」に加え「東北支援」に取り組みました。2月に被災地に入り、安心して食べられる農作物を送ろうと決意し、「東北を支援する会」を結成しました。10年間は支援を続けていこうと、伯耆町八郷でお米をつくり被災地に送っています。

また、大山にブナを植える林業体験に参加する中で、子どもたちにより良い環境を残さなければならないという想いを強くしました。

本年は健康・家族・教育・雇用・環境【5K】を中心に議会活動や市民活動に活かしていきたいと思っています。

写真は2012年7月伯耆町の水田で雑草の「ひえ」を除草した時のもの。連日の猛暑続きのため、朝4時30分から8時まで作業。はじめは、転んでばかりでしたが、日を追って「ひえ取り作業」が上手になり、農作業の楽しさも感じられた時の一枚。



### 産別・単組活動紹介

#### ◇鳥取杉谷電機従業員組合◇

鳥取杉谷電気株式会社従業員組合は設立40数年になります。

当組合は委員長、副委員長、書記長、会計、執行委員3名の計7名の執行委員体制で組織運営しており、従業員の雇用の安定と労働条件の改善に向けて頑張っています。

新入社員歓迎会、新年会、納涼祭、慰安旅行の主催などを主な活動内容とし、組合員の結束力がより強固なものとなるよう努力しています。



新年会の余興  
「手押し相撲」を楽しむ組合員

## てんぐんくらぶ

今春闘では賃上げへの期待が高まっている。安倍政権の経済政策「アベノミクス」によるものだ。確かに、円安や株価の上昇が進み、一部の企業においては業績が改善しているようであるが、依然として業績が厳しい企業も多い状況である。4月になり、特に中小企業が多い鳥取県内において、果たしてどれだけの企業にその効果が伝わり、賃上げへと結びつけられるのか。以前の春闘では、物価の上昇に合わせて要求するベースアップが最大の争点であったが、長引くデフレにより、最近では業績に応じて調整しやすい。一時金要求が主となっている。今年の春闘においても、製造業を中心とした大手労組のほとんどはベースアップ要求を見送り、賃金制度の維持と一時金の増額要求を行った。しかし、生活の基本となるのは月例賃金である。われわれ労働者が景気の回復を実感できるのは、月例賃金が上がり、可処分所得が増え、これまで以上に消費意欲が湧いてきた時ではないだろうか。

(壽)

